

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード		133607		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。													
事務事業名		ハッセルト市高校生・大学生相互交流事業		担当部局・課	教育委員会学校教育部 学校教育担当												
事業内容		両市における一般家庭でのホームステイ、市主催の交歓会、中学校・高等学校・大学等の訪問を通して、伊丹市とハッセルト市の市民レベルの交流活動をする。			事業開始(予定)年度												
					昭和61年度												
					事業終了(予定)年度												
					—												
この事業の 上位施策		これから5 年間のまち づくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現													
			項目	きめ細かな地域福祉の推進													
			施策	国際交流の推進													
			⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。														
事業の目的		伊丹市国際姉妹都市ベルギーハッセルト市との教育交流の一環として、高校生・大学生の受入と派遣を隔年で実施し、両市の親善と友好を深めるとともに、心豊かな国際人を育成する。			予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)		(款) 教育費 (項) 教育総務費 (目) 教育指導費		(事項) 学校教育活動振興指導費								
事業費等の概算		平成17年度(決算)				平成18年度(予算)											
		事業費		1,384千円		財源内訳		事業費		1,464千円		財源内訳					
						国・県補助金等						—					
						市 債						—					
						その他(使用料等)						—					
						一般財源(市税等)						1,384千円					
		投入人員		0.21人		⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				投入人員		0.10人		⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)			
		人件費		1,799千円		⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				人件費		857千円		⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。			
		経費合計		3,183千円				経費合計		2,321千円							
		活動指標		指標名(単位)		市内訪問先(ヶ所)				計画と実績		年度		H17年度		H18年度	
意味・算式等				伊丹市内の学校等との交流及び訪問先の数		区分		計画値				10		10			
						実績値		10									

評価結果	B
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。